

# 放射能の健康診断と医療を求める 7/31 環境省請願&署名提出に参加してください

国は2017年3月に原発事故の「避難解除」や避難住宅打ち切りを一斉に強行する構えです。福島激励訪問団（7/3～5）が南相馬市や飯館村で見た物は、線量計が振り切れるほどの猛烈な放射能汚染と、その汚染地域に人を住ませるための急速な除染作業でした。

しかし放射能の健康被害と不安、そして要求はどんどん広がっています。激励訪問団は福島の各地で交流をかさね、福島駅で署名を呼びかけて、福島県民とのつながりを深めました。

## 【環境省請願と署名提出】 予定変更の場合は改めてご連絡します。

7月31日の環境省交渉は前回（2015年3月）に引き続き、①手術事例が108人に達したことを「異常事態」と認め、国が対策を取ること、②甲状腺がんだけでなく健康被害の検診と福島近隣県の健康診断を実施すること、などを要求します。

環境省には弱点があります。私たちは質問状を提出し、甲状腺がんの手術例が多発する事の見解や、近隣県の有識者会議の実態を問います。また事前の福島県交渉を踏まえて、新たな要求も提出します。

★ 7/31（金）11時～12時 参議院会館 B108室

12時～13時 同室で、報告集会

（10：30に参議院議員会館ロビーに集まってください。）

★お手元の署名は、署名用紙記載の東京または大阪の事務局へ郵送していただければ幸いです。

平和と民主主義をめざす

## 8/2 全国交歓会・分科会「原発再稼働と

## 放射能の健康被害を止めよう」のご案内

★8月2日（日）9:30～13:00 北とぴあ・ペガサスホール（JR「王子」下車）

【2015全国交歓会（東京大会）の詳細はこちらをご覧ください。

→ <http://www.zenko-peace.com/2015-zenko>】

8月2日には全国交歓会の場を得て「原発再稼働と放射能の健康被害を止めよう」分科会を開催します。福島はじめ全国の原発事故被害者と連携して全国に署名運動を広げ、関東地方の自治体に独自の放射能検診の実施を広げる方針や、原発再稼働を止める方針などを議論したく、準備を進めています。福島からの報告や福島訪問団の成果も紹介しながら、国を動かす運動の方向を討論しましょう。ぜひご参加ください。

・7/3～5福島激励訪問団の映像報告

・原発再稼働阻止と健康診断100万人署名運動の到達点と方針の提案

・討議： 福島県の放射能汚染と健康被害の状況報告／福島激励訪問団で見たもの／原発事故被害者との連帯／関東はじめ各自治体での放射能健診要求／原発立地での取り組み

## 放射能健康診断100万人署名運動全国実行委員会／全交関電前プロジェクト

連絡先：小山 070-5653-7886

nobiscum@wb4.so-net.ne.jp

HP <http://housyanoukenkou.3rin.net/>